

令和7年度第3回鮫川村地域公共交通協議会

日時：令和7年8月22日（金）

15:00～

場所：鮫川村公民館・大集会室

進行：室長

『 次 第 』

1. 開 会

2. 会長あいさつ

3. 議 事

報告第1号 令和7年7月までのデマンド交通実証事業結果について

報告第2号 地域フィーダー系統計画認定申請について

議案第1号 令和7年10月からのデマンド交通本格運行等について

（1）デマンド交通運賃改正について

（2）デマンド交通予約システムの廃止について

議案第2号 宝木経由鮫川線の減便について

4. そ の 他

次回開催について 令和8年2月以降

5. 閉 会

令和7年度 鮫川村地域公共交通協議会委員名簿

	所属	職名	氏名	選出区分
1	鮫川村	副村長	板垣 良夫	鮫川村長またはその指名する者
2	福島交通株式会社石川営業所	所長	本柳 靖二	一般乗合旅客自動車運送事業者
3	公益社団法人福島県バス協会	専務理事	宍戸 紳一郎	一般旅客自動車運送事業者の組織する団体
4	一般社団法人福島県タクシー協会	県南支部長	鈴木 創一	一般旅客自動車運送事業者の組織する団体
5	東北運輸局福島運輸支局	企画調整部門首席運輸企画専門官	日脇 渚彩	福島運輸支局長またはその指名する者
6	福島県県南地方振興局	県民環境部副部長兼県民生活課長	伊澤 由美子	福島県の行政機関の職員（都道府県）
7	棚倉警察署	地域交通課長	小野寺 洋佑	福島県の行政機関の職員（都道府県警察）
8	国土交通省東北地方整備局郡山国道事務所	調査課長	松山 智	福島県の行政機関の職員（道路管理者）
9	福島県棚倉土木事務所	所長	佐藤 和志	福島県の行政機関の職員（道路管理者）
10	私鉄福島交通労働組合棚倉分会	会長	高橋 政廣	一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者
11	鮫川運送(株)	社長	芳賀 篤徳	鮫川村長またはその指名する者
12	鮫川村商工会	会長	古館 勝人	鮫川村長またはその指名する者
13	鮫川村商工会	女性部長	本郷 まさ子	鮫川村長またはその指名する者
14	社会福祉協議会	事務局長	舟木 正博	鮫川村長またはその指名する者
15	地域包括支援センター	主任介護支援専門員	藤元 良子	鮫川村長またはその指名する者
16	鮫川村区長会	赤坂西野区長	舟木 勝弥	住民または利用者の代表
17	鮫川村老人クラブ連合会	会長	前田 三郎	住民または利用者の代表
18	福島県修明高等学校	校長	阿部 拓広	住民または利用者の代表
19	学校法人石川高等学校	教頭	矢吹 靖弘	住民または利用者の代表
20	社会福祉法人鮫川福祉会鮫川たんぽの家	施設長	江尻 勝巳	住民または利用者の代表
21	鮫川村連合PTA	会長	目黒 信一	住民または利用者の代表
22	鮫川村連合PTA	副会長	円谷 政幸	住民または利用者の代表

オブザーバー

23	総務課	課長	矢吹 かおり
24	住民福祉課	課長	鈴木 庄悟
25	農林商工課	課長	我妻 正紀
26	地域整備課	課長	鈴木 隆寛
27	教育課	課長	渡邊 敬
28	こどもセンター	主幹兼園長	小針 富子

事務局

29	村づくり推進室長	事務局員	船木 博枝
30	村づくり推進室村づくり推進係長	事務局員	水野 克哉
31	村づくり推進室村づくり推進係主任主事	事務局員	佐藤 雄大
32	村づくり推進室村づくり推進係主事	事務局員	薄葉 楓花

報告第1号

令和7年7月までの鮫川村デマンド交通実証事業結果について

1 デマンド交通の概要について

(1) 実証運行期間 令和5年11月14日～令和7年9月30日

※令和6年9月1日～令和7年2月28日：共創・Maas 実証プロジェクト事業

※令和7年10月：本格運行開始予定

(2) 運行時間 8時～16時

(3) 運行日 月～土及び企画運行日（運休日：日、祝、12月29日～1月3日）

(4) 運行地域

- ・村内全域

- ・塙町の一部（塙厚生病院、磐城塙駅）

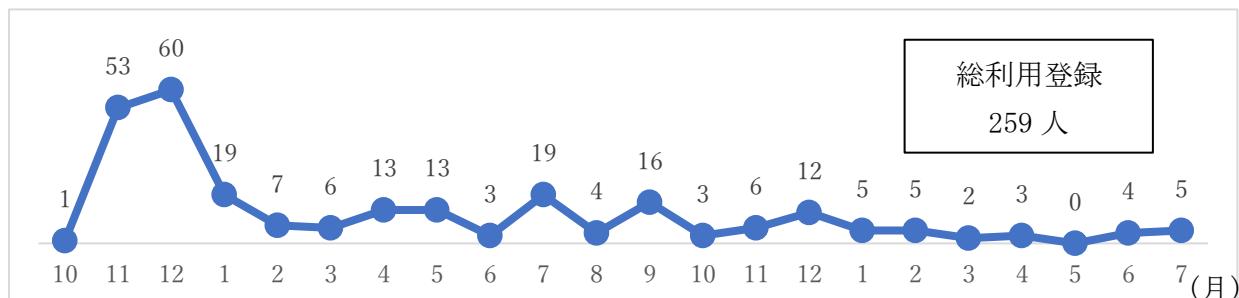
- ・棚倉町の一部（ヨークベニマル棚倉店、磐城棚倉駅）

(5) 運賃

- ・村内：400円（19～69歳）、200円（6～18歳、70歳以上、障がい者）

- ・村外：1,500円（19～69歳）、800円（6～18歳、70歳以上、障がい者）

2 利用登録者数の推移（R5.11.14～R7.7.31）



(1) 総利用登録者数 **259人**

(2) 年齢別の割合

	村内	村外
6～18歳	3%	0%
19～69歳	20%	4%
70歳以上	56%	1%
障がい者	6%	9%
未就学児	1%	0%

・村内の**70歳以上**が最も多く登録している。村外高齢者（70歳以上）の登録があった。

・村内の6～18歳の新規登録があり、特に中学生の利用登録がある。

・実証運行開始時と比較し、新規の利用登録者数は減少している。

3 運行状況及び乗車人数 (R5. 11. 14～R7. 7. 31)

		利用回数	実利用人数			利用回数	実利用人数
令和5年度	R5. 11月	37回	36人	令和6年度	10月	74回	40人
	12月	62回	61人		11月	57回	35人
	R6. 1月	87回	80人		12月	91回	51人
	2月	52回	30人		R7. 1月	69回	41人
	3月	57回	33人		2月	106回	57人
令和6年度	4月	67回	39人		3月	89回	58人
	5月	82回	45人	令和7年度	4月	81回	49人
	6月	71回	39人		5月	70回	37人
	7月	101回	58人		6月	82回	43人
	8月	77回	49人		7月	90回	48人
	9月	50回	31人		合計	1,552回	960人

(1) 運行日数 : **499日**

(2) 運休日数 : **109日**

(3) 乗車人数 : **960人**

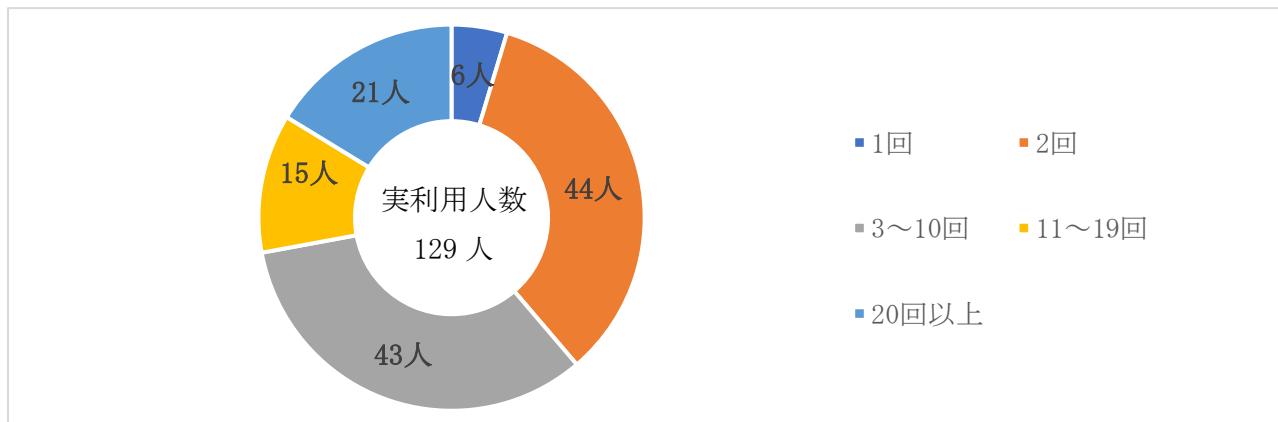
(4) 1日あたりの乗車人数 : **約1.9人**

(5) 状況

- ・令和7年度になり、実利用人数は低下している。
- ・利用回数として、平均は約78回であり、今年度は比較的上回った運行をしている。
- ・1日あたりの乗車人数が微量だが減少している。

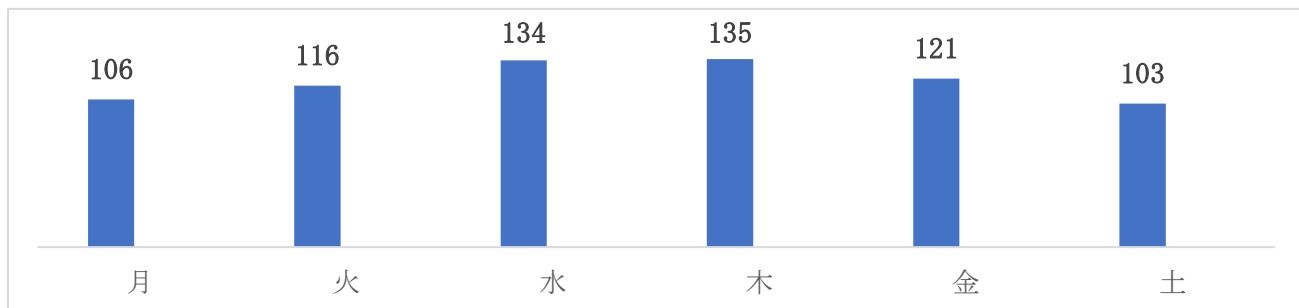
4 利用者の傾向

(1) 利用回数について (R5. 11. 14～R7. 7. 31)



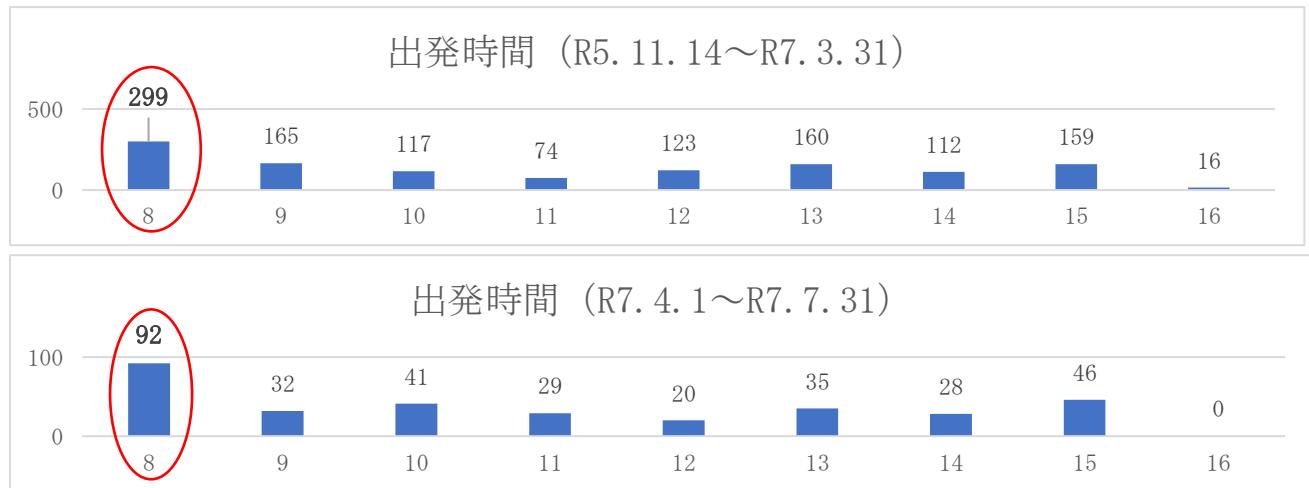
- 利用登録者 259 人のうち、実利用人数は 129 人となり、利用登録者の約 47%が利用したことがあるとなった。登録のみで実際に利用したことのない人が半数以上であり、イベントと絡めた運行を企画し、利用人数の確保を図る。
- 利用回数が 1 回（片道のみ）の利用は 6 人であり、実証運行開始時より大きな変動はない。
- 20 回以上の利用は 21 人であり、**最も多い利用回数は 151 回**。利用目的として多いのは、**塙厚生病院への通院**である。

(2) 利用曜日について (R6. 4. 1～R7. 7. 31)



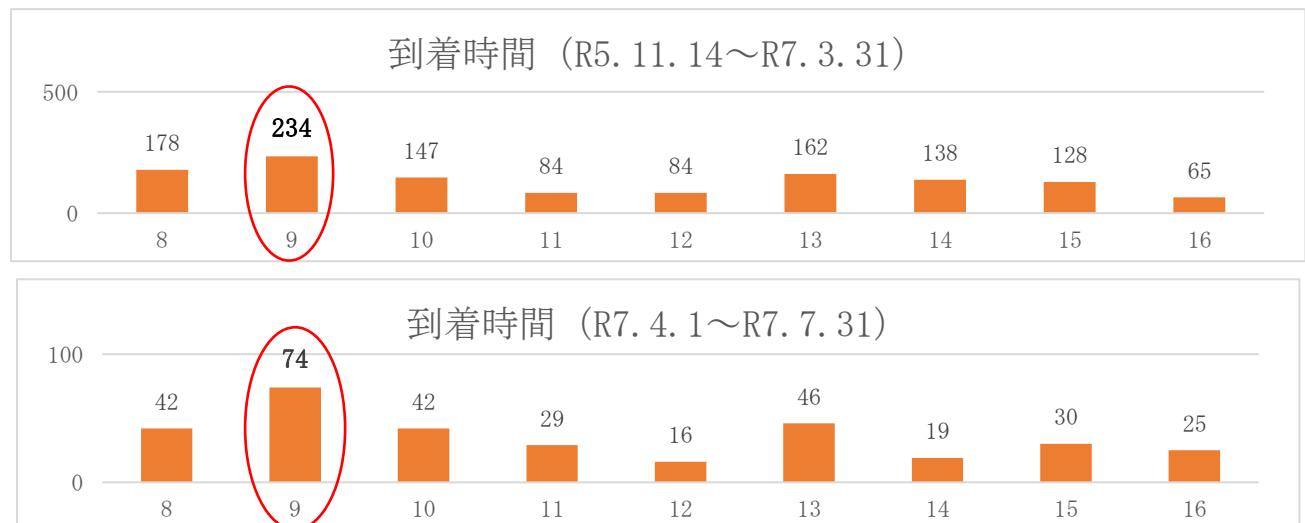
- 利用者の少ないのは土曜日であり、次いで月曜日、火曜日となっている。
- 利用者の多い日数は木曜日であり、水曜日も多くなっている。
- R7. 5 月の運行について、土曜日に利用者のいない日は 3 日間あり、土曜日・月曜日の利用者が減少してきている。

(3) 利用時間帯 (R5. 11. 14～R7. 7. 31)



『出発時間』

- ・最も多く利用される時間帯は、**8 時台**であり、主に塙厚生病院の通院に利用されている。
- また、8 時台の中でも **8：20 頃の出発**が最も多く、9 時前に塙厚生病院へ到着することを希望する利用者が多いことが予想される。
- ・その後、**日中は減少傾向**にあり、**13～15 時にかけ利用者が増加**していくことがわかる。
- ・午後の時間帯では、15 時の利用が最も多く、主に塙厚生病院からの帰宅に利用されている。



『到着時間』

- ・最も多く利用される時間帯は、**9 時台**であり、8 時台に乗車した方が多いことから増加していることがわかる。特に **8：50～9：00 の到着**を希望する方が、他の時間帯と比較して多い。
- ・8～9 時、13～14 時の間に利用者が集中しており、**11～12 時の時間帯は利用者が少ない**。

(4) 利用場所について (R6. 4. 1～R7. 7. 31)



- ・主な利用として、**塙厚生病院**を目的地とする人が多い。
- ・令和6年12月から棚倉町への乗り入れを開始したが、利用については**ヨークベニマルへの利用が5回**にとどまっている。磐城棚倉駅への利用はないため、駅からの移動手段について情報発信を行い、利用者を確保していきたい。
- ・その他としている高齢者住宅からの帰省や施設からの帰省での利用が増えてきている。

○保健センターには鮫川歯科医院、診療所の利用を含む。
 ○その他村内施設…各地区の集会所等や各理美容院等を含む。
 ○その他…高齢者住宅に居住している方が実家の手入れのために帰省しているもの（障がい者グループホームからの帰省含む）

5 総括

- ・利用者について、継続的な利用が目立っている。利用者の確保という点では、継続的な利用があることは、利点であるが、同時に新規の利用者が予約しにくい傾向もある。
- ・利用傾向として、実証運行開始時より塙厚生病院への通院利用が多い。自宅から塙厚生病院まで乗り継ぎなしで移動が可能であり、バスやタクシーと比較し安価で乗車可能なため、利用者が多い。それに伴い、村内に車両がある時間帯が少なくなり、村内間の移動の予約へ対応できない場合があるため、デマンド交通だけでなく、路線バス等の情報を周知し、利便性を向上させていく必要がある。
- ・夏休み期間の中学生の利用について、昨年と比較して増加している。今後長期休業前に広報等でより周知していく。

6 その他の実績

(1) 予約システムについて

- ・令和6年11月よりデマンド交通の予約システムを村内6か所に設置した。
 - ・利用実績は13件であり、その予約についても、他の運行を行っていたため、対応できなかった。
 - ・現在、電話での事前予約が主であり、システムでの即時予約には対応が難しく、当初予定していた福祉施設からの予約にも対応できていない。
- ⇒現状のデマンド交通では、システムからの予約に対応が難しく、利用することへのメリットが感じられない。

(2) AEDについて

- ・令和6年10月より車両にAEDを搭載し、乗務員も普通救急講習会を受講した。
- ・現在利用実績は0件であるが、緊急時に対応できる点において、村民や利用者、乗務員も安心してデマンド交通を利用できると考えている。

報告第2号

様式第1-1（日本産業規格A列4番）

令和7年6月23日

国土交通大臣 殿

氏名又は名称 鮫川村地域公共交通協議会
住 所 福島県東白川郡鮫川村大字赤坂中野字新宿39番地5
代表者氏名 会長 板垣 良夫

地域公共交通計画認定申請書

地域公共交通計画のうち、地域公共交通確保維持事業に係る計画を別紙のとおり定めたので、関係書類を添えて申請します。

※本申請書に、記載すべき事項を全て記した地域公共交通計画を添付すること。

令和7年6月23日

(名称) 鮫川村地域公共交通協議会

1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性

鮫川村では交通事業者に運行を委託する村営バス及び2つの路線バスが運行をしている。それぞれが棚倉町・石川町・塙町と鮫川村と近隣町村をつなぐ幹線交通としての役割を持っている。

しかし、人口減少と自家用車の普及などの要因により、路線バスの利用者は減少してきている。また、鮫川村は村内の各所に住居が点在し、路線バスの沿線上から離れた集落が多く、そこに住む高齢者は路線バスの利用が難しく、移動手段の確保が課題となっている。

上記の課題解決のため、本村では令和5年11月よりドア・ツー・ドア方式で自宅と目的地をつなぐデマンド交通「さめばす」を導入し、実証運行を開始している。これにより、交通不便地域に住む高齢者を中心に、多くの村民の移動手段確保へとつながっている。

このため、地域公共交通確保維持事業により、デマンド交通「さめばす」を確保・維持することで、住民の生活交通手段を存続させていくことが必要である。

2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果

(1) 事業の目標

- ・公共交通カバー人口：100%
- ・鮫川村デマンド交通「さめばす」の利用者数：3.0人/日

(2) 事業の効果

デマンド交通を維持することにより、路線バスの沿線から離れた集落の高齢者や自動車の運転ができない村民等の移動手段の確保が可能となる。また、幹線と接続することで、効率的な運行体系が実現できる。自宅前から乗車が可能なため、外出機会の促進や地域活性化につながり、公共交通利用者の増加や満足度向上等の効果が得られると予測できる。

3. 2. の目標を達成するために行う事業及びその実施主体

※事業について、過去に事業評価を行っている場合には、当該評価（一次評価及び二次評価）の結果を踏まえて記載。

- ・デマンド交通の運行（鮫川村、事業者）
 - ・路線バスの運行改善に向けた見直し検討・実施（鮫川村、事業者）
 - ・公共交通マップの作成・展開（鮫川村）
 - ・乗り方教室など直接PRによる利用促進（鮫川村）
 - ・広報を活用した利用促進PR（鮫川村）
 - ・公共交通利用によるインセンティブ（企画乗車券・体験乗車券等）導入（鮫川村）
 - ・免許返納者を対象としたソフト対策導入（鮫川村）
- （鮫川村地域公共交通計画 P15～22 参照）

4. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運送予定者

表1を添付

5. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額

地域公共交通確保維持事業によって運行の維持を図るデマンド交通「さめばす」について、その運行に係る費用総額 6,436,861 円（令和6年度実績より算出）のうち、鮫川村から運行事業者への補助金額については、運行収入及び国庫補助金を運行経費から差し引いた差額分を負担することとしている。

6. 2. の目標・効果の評価手法及び測定方法

目標のそれぞれについて、数値指標によるモニタリング・評価を実施する。

7. 別表1の補助対象事業の基準木ただし書に基づき、協議会が平日1日当たりの運行回数が3回以上で足りると認めた系統の概要 <u>【地域間幹線系統のみ】</u>
該当なし
8. 別表1の補助対象事業の基準ニに基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」と認めた市町村の一覧 <u>【地域間幹線系統のみ】</u>
該当なし
9. 生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項 <u>【地域間幹線系統のみ】</u>
該当なし

10. 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要 【地域内フィーダー系統のみ】	
表5を添付	
11. 車両の取得に係る目的・必要性 【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】	該当なし
12. 車両の取得に係る定量的な目標・効果 【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】	(1) 事業の目標 該当なし (2) 事業の効果 該当なし
13 車両の取得計画の概要及び車両の取得を行う事業者又は地方公共団体、要する費用の総額、負担者とその負担額【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】	該当なし
14. 老朽更新の代替による費用の削減等による地域公共交通確保維持事業における収支の改善に係る計画（車両の代替による費用削減等の内容、代替車両を活用した利用促進策） 【公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】	該当なし
15. 貨客混載の導入に係る目的・必要性 【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】	該当なし
16. 貨客混載の導入に係る定量的な目標・効果 【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】	(1) 事業の目標 該当なし (2) 事業の効果 該当なし
17. 貨客混載の導入に係る計画の概要、要する費用の総額、内訳、負担者及び負担額【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】	該当なし
18. 協議会の開催状況と主な議論	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年4月23日（第1回） 昨年度事業報告、今年度事業内容及び計画変更について協議 ・令和7年6月5日（第2回） 計画の変更及び地域内フィーダー系統計画認定申請について書面決議を実施 (令和7年6月23日 すべての構成員より合意を得られた。)

19. 利用者等の意見の反映状況

鮫川村地域公共交通協議会に利用者代表や交通事業者など、地域の様々な立場の方々に参加いただいている。

・デマンド交通に関するアンケート調査の実施

実施日：令和7年1月29日～令和7年2月6日

回収数：970人

内訳 デマンド交通の利用登録者+利用者…74人

デマンド交通の利用登録者+非利用者…57人

デマンド交通の非利用登録者…839人

回答内容：デマンド交通運行開始前の外出手段では自動車の運転が約52%となっており、自動車運転から転換している状況が見える。また、デマンド交通の利用により、外出機会が増えたとの回答が約20%となっており、外出機会の創出につながっている。村民や利用者の意見を踏まえて、引き続き、サービス向上に努めていく。

20. 乗用タクシーの運賃低廉化措置を行う地域の概要

【乗用タクシーの運賃低廉化措置を行う場合のみ】

(1) 過去に乗合旅客の運送を行っていた乗合バス事業等

該当なし

(2) 交通手段の検討状況

該当なし

【本計画に関する担当者・連絡先】

(住 所) 福島県東白川郡鮫川村大字赤坂中野字新宿39番地5

(所 属) 鮫川村 村づくり推進室 村づくり推進係

(氏 名) 薄葉 楓花

(電 話) 0247-57-6332

(e-mail) suishin@vill.samegawa.fukushima.jp

注意： 本様式はあくまで参考であり、補助要綱の要件を満たすものであれば、この様式によらなくても差し支えありません。

実際の計画作成に当たっては補助要綱等を踏まえて作成をお願いいたします。

各記載項目について、地域公共交通利便増進実施計画及び地域旅客運送サービス継続実施計画を作成している場合には、当該計画から該当部分を転記したり、別添〇〇計画△節のとおり、等として引用したりすることも可能です。(ただし、上記2.・3.については、地域公共交通利便増進実施計画及び地域旅客運送サービス継続実施計画に定める目標、当該目標を達成するために行う事業及びその実施主体に関する事項との整合性を図るようにして下さい。また、地域公共交通計画全体として、協議会における協議が整った上で提出される必要があります)。

※該当のない項目は削除せず、「該当なし」と記載して下さい。

議案第1号

令和7年10月からのデマンド交通本格運行について

令和5年11月から約2年間にわたり実証運行を行ってきたデマンド交通につきまして、これまでの実証事業の結果や住民アンケートの内容から、村民のニーズが高く、また事業の継続性も見込めることが確認されております。

このことを踏まえ、令和7年10月から本格運行へ移行したいと考えております。

併せて、本格運行開始にあたり、下記のとおり運行内容の変更を提案いたします。

(1) デマンド交通運賃について

【変更前 (R5. 11. 14～R7. 9. 30)】

		村内	村外
19歳～69歳		400円	1,500円
6歳～18歳			800円
70歳以上		200円	
障害者	6歳～18歳		400円
	19歳～69歳		800円

【変更後 (R7. 10. 1～)】

		住所地が村内の者		住所地が村外の者	
移動範囲 (出発地～目的地)		村内	村外 ・塙町 ・棚倉町	村内	村外 ・塙町 ・棚倉町
19歳～69歳				800円	1,500円
6歳～18歳					
70歳以上		200円	400円		
障害者	6歳～18歳			400円	800円
	19歳～				

デマンド交通運賃について、デマンド交通の村内利用を促すため、次のとおり変更する。

- ①移動範囲が村内の場合と村外（塙町又は棚倉町）の場合で料金に差を設ける。
- ②住所地が村内の者の村内移動に係る料金の一括化

(2) デマンド交通予約システムの廃止について

令和6年1月より導入したデマンド交通予約システムについては、当初想定していた利用がなく、設置個所によっては1度も利用がないものもありました。

現在、予約の多くは電話による事前予約であり、特に塙厚生病院の利用を中心となっています。また、運行は事前予約を優先しているため、即時予約を前提とする当該システムからの予約には対応できていない状況です。

このことから、当該システムは現在のデマンド交通の運用には適していないと判断し、契約期間満了となる令和7年9月30日をもってシステムを廃止し、令和7年10月からの本格運行においては、電話による事前予約のみしたいと考えております。

デマンド交通に関するアンケート調査

実施報告書(概要版)

鮫川村デマンド交通アンケート調査結果概要

■調査概要

1. 調査の実施方法

調査対象者	鮫川村デマンド交通の利用登録者及び非登録者
調査方法	直接配布、郵送回収（Web回答も可）
調査時期	令和6年12月13日（金）～令和6年12月25日（水）

2. 調査の実施結果

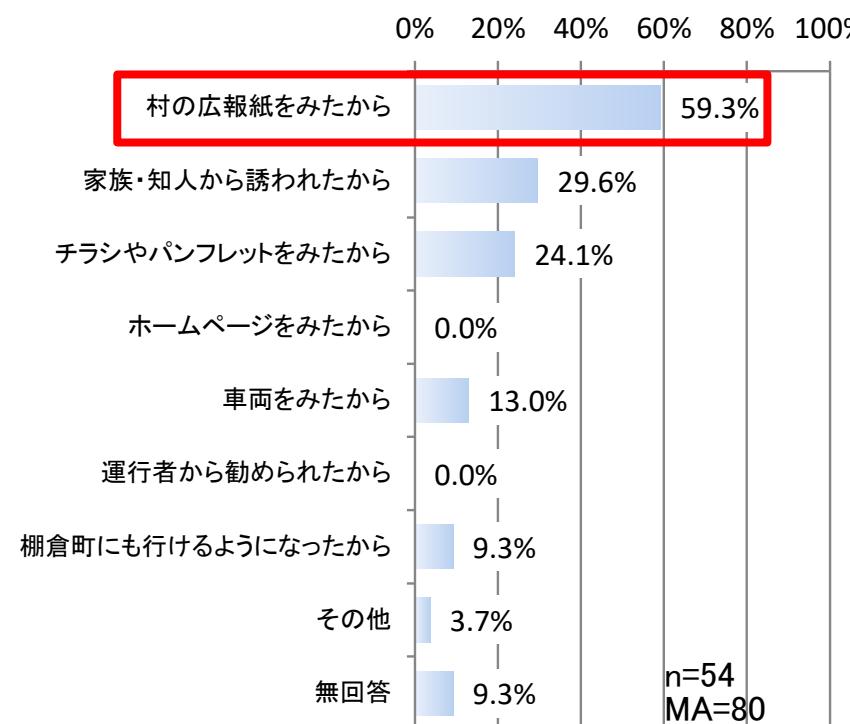
区分	回収数
鮫川村デマンド交通の利用登録者 + 利用者	54票
鮫川村デマンド交通の利用登録者 + 非利用者	32票
鮫川村デマンド交通の非利用登録者	336票

■結果概要

1. 鮫川村デマンド交通の利用者

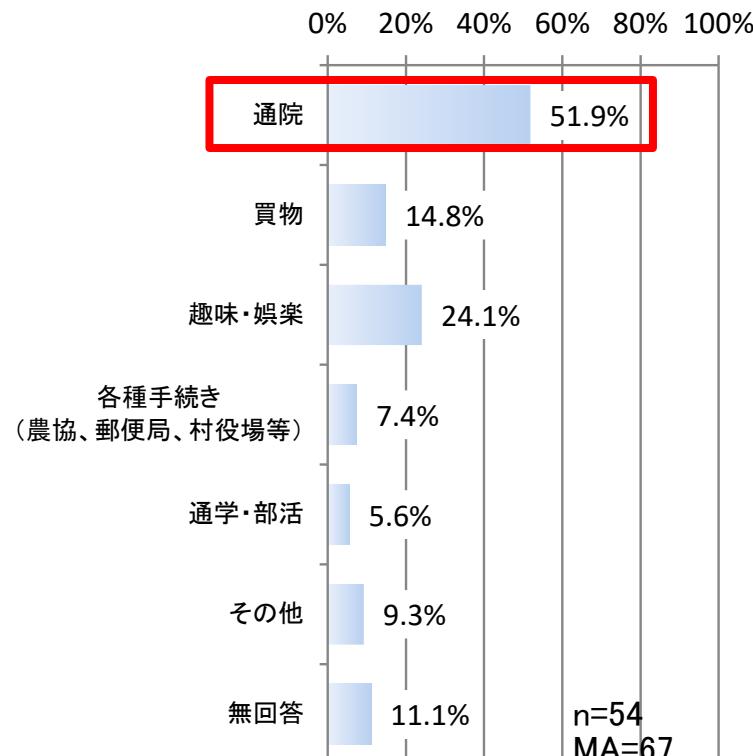
①利用登録のきっかけ

・利用登録のきっかけでは、「村の広報紙をみたから」が59.3%(32人)と最も高く、次いで「家族・知人から誘われたから」が29.6%(16人)と続いています。



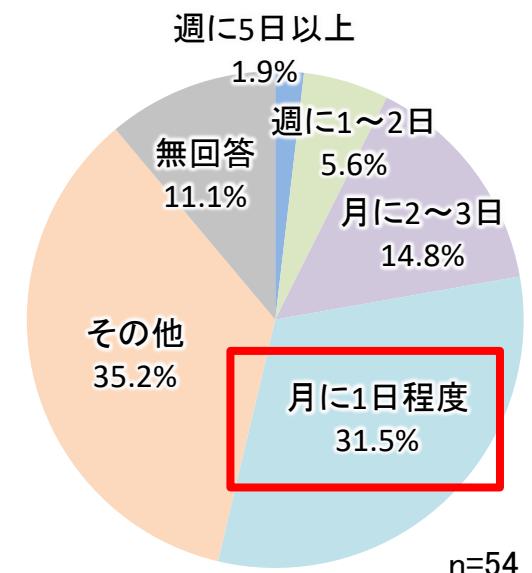
②利用目的

・利用目的では、「通院」が51.9%(28人)と最も高く、次いで「趣味・娯楽」が24.1%(13人)と続いています。



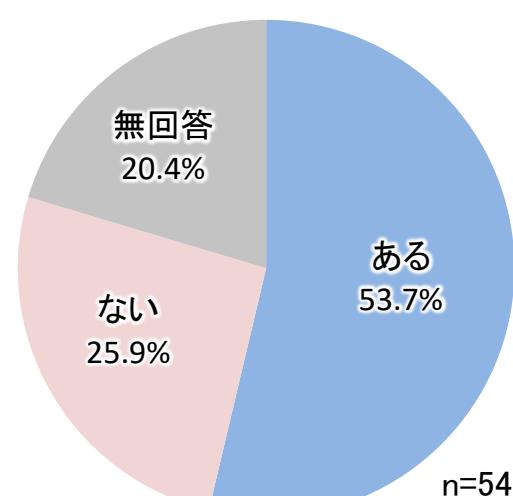
③利用頻度

・利用頻度では、「その他」が35.2%(19人)と最も高く、次いで「月に1日程度」が31.5%(17人)と続いています。



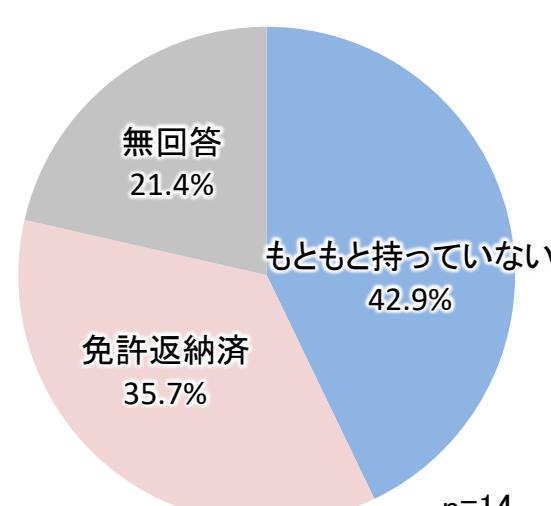
④運転免許保有の有無

・運転免許保有の有無では、「ある」が53.7%(29人)と最も高く、次いで「ない」が25.9%(14人)と続いています。

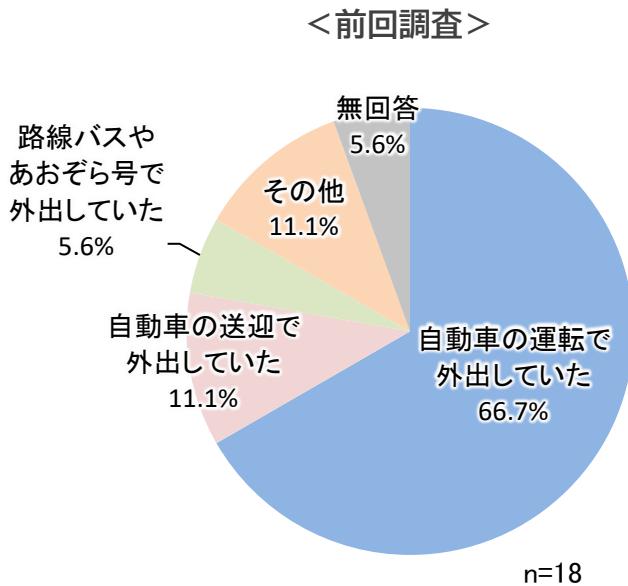


⑤運転免許非保有者の状況

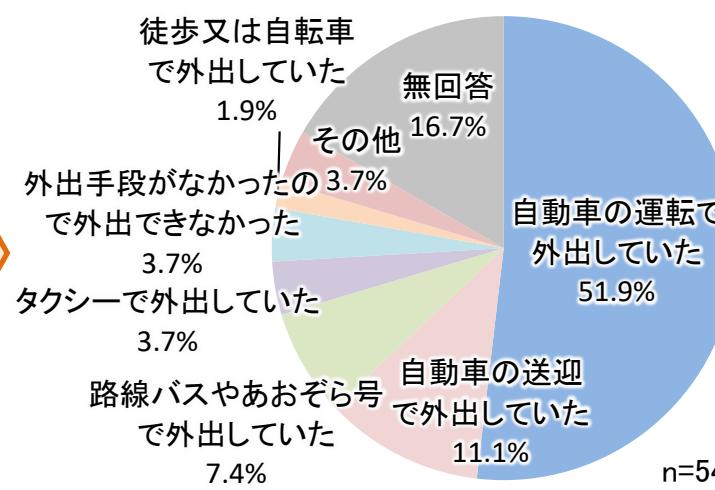
・運転免許非保有者の状況では、「もともと持っていない」が42.9%(6人)と最も高く、次いで「免許返納済」が35.7%(5人)と続いています。



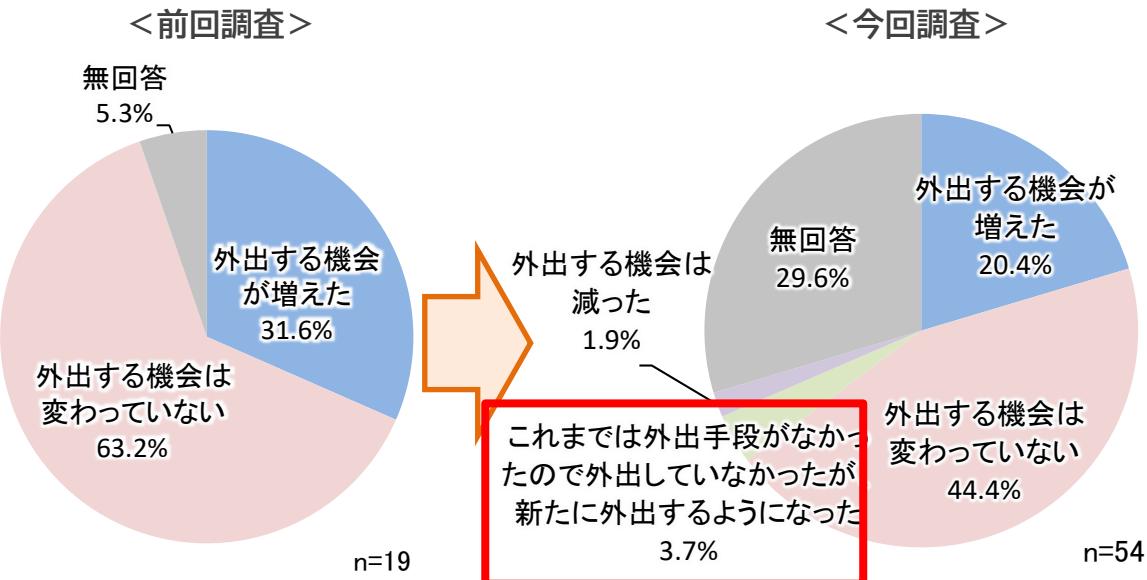
⑥デマンド交通運行開始以前の外出手段



<今回調査>

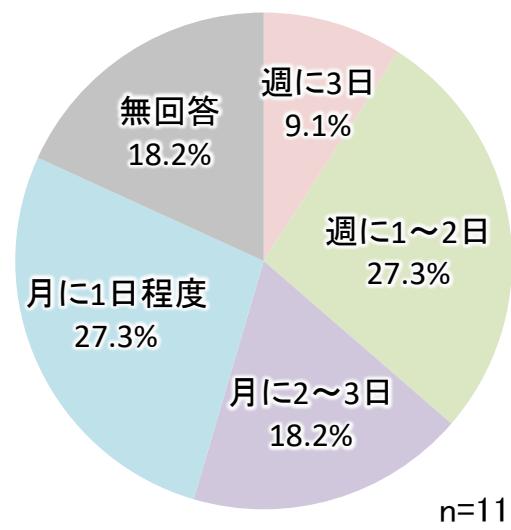


⑦デマンド交通運行開始以前の外出手段

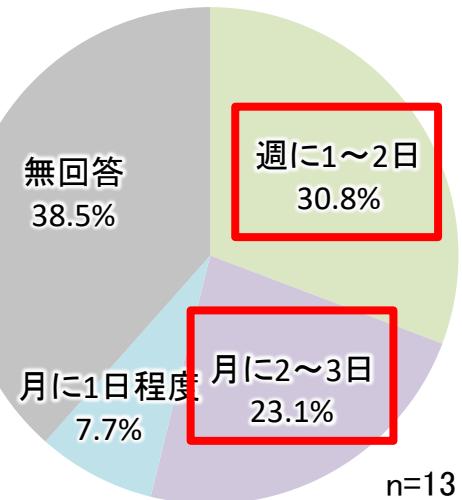


⑧デマンド交通の利用前後の外出頻度の変化

<デマンド交通利用以前の外出頻度>

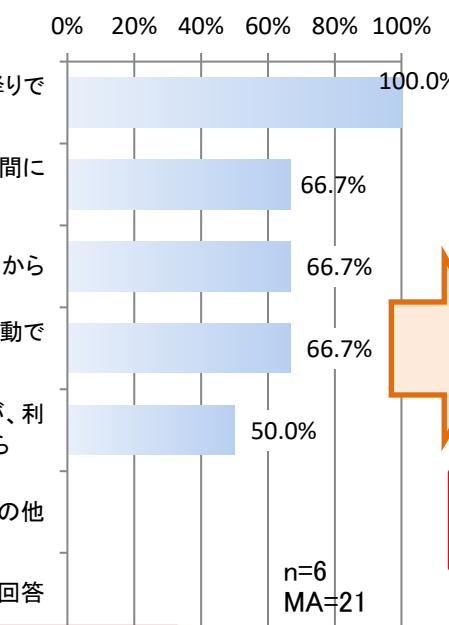


<デマンド交通利用以後の外出頻度>

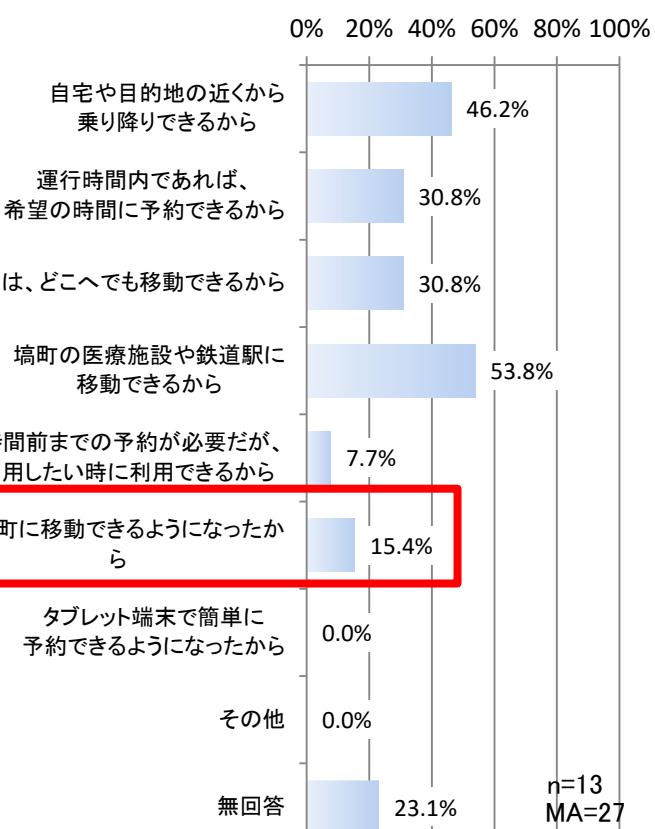


⑨外出機会が増加した理由、もしくは新たに外出するようになった理由

<前回調査>



<今回調査>



<外出手段の変化>

- これまででは外出手段がなかったので外出していなかったが、新たに外出するようになったとの回答が見られます。

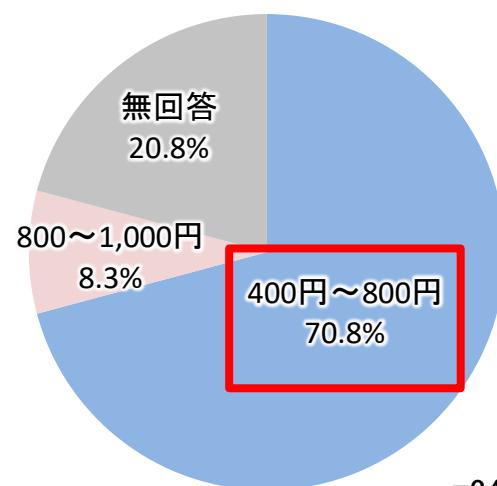
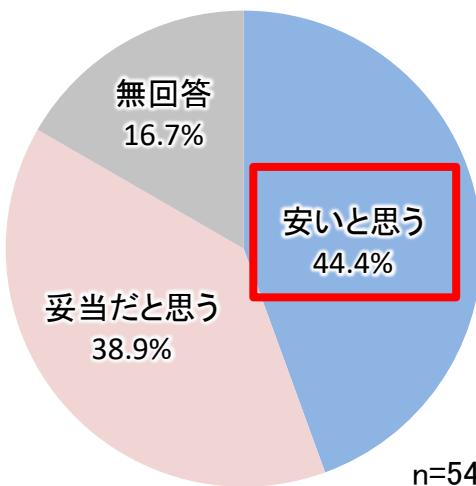
<外出頻度の変化>

- デマンド交通利用以前と以後の外出頻度を比較すると、週1~2日、月に2~3日の割合が増えていました。

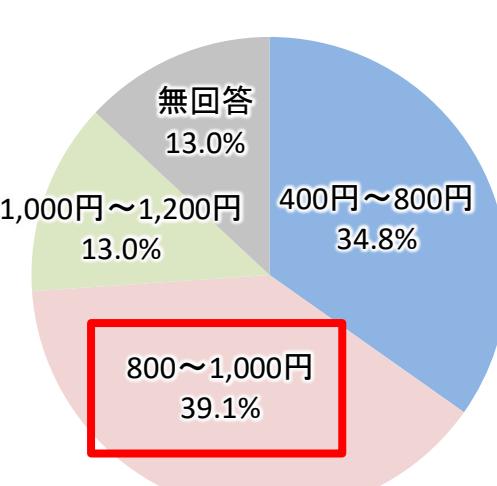
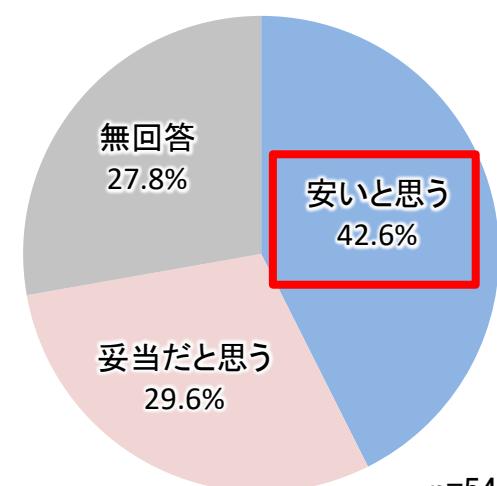
<外出機会が増加した理由、もしくは新たに外出するようになった理由>

- 棚倉町に移動できるようになったからの回答が見られます。

⑩村内運行の料金

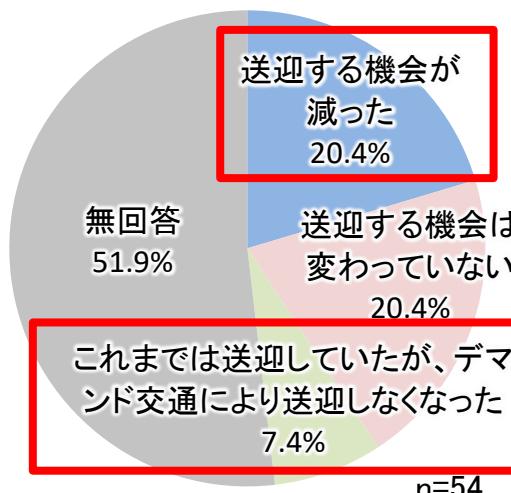


⑪村外運行の料金

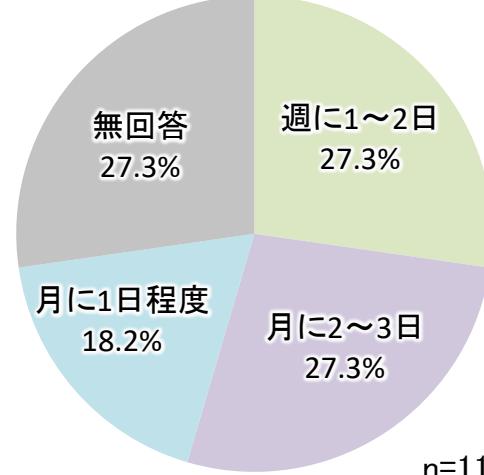


⑫デマンド交通利用による家族の送迎頻度の変化(ご家族が回答)

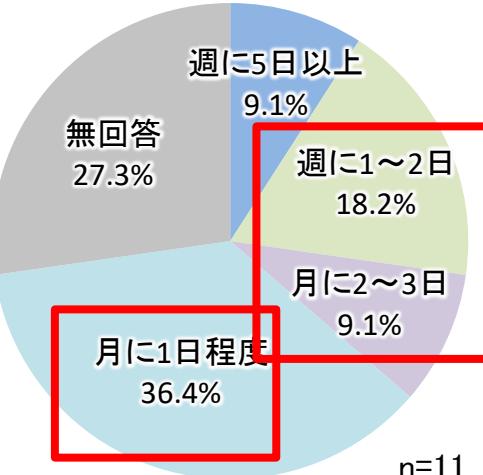
<送迎頻度の変化>



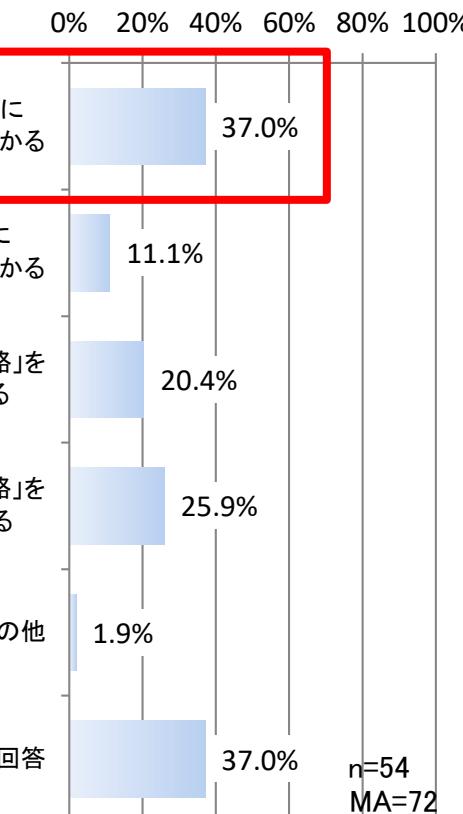
<デマンド交通利用以前の送迎頻度>



<デマンド交通利用以後の送迎頻度>



<デマンド交通利用による送迎負担が緩和される方法>



<村内運行及び村外運行の料金>

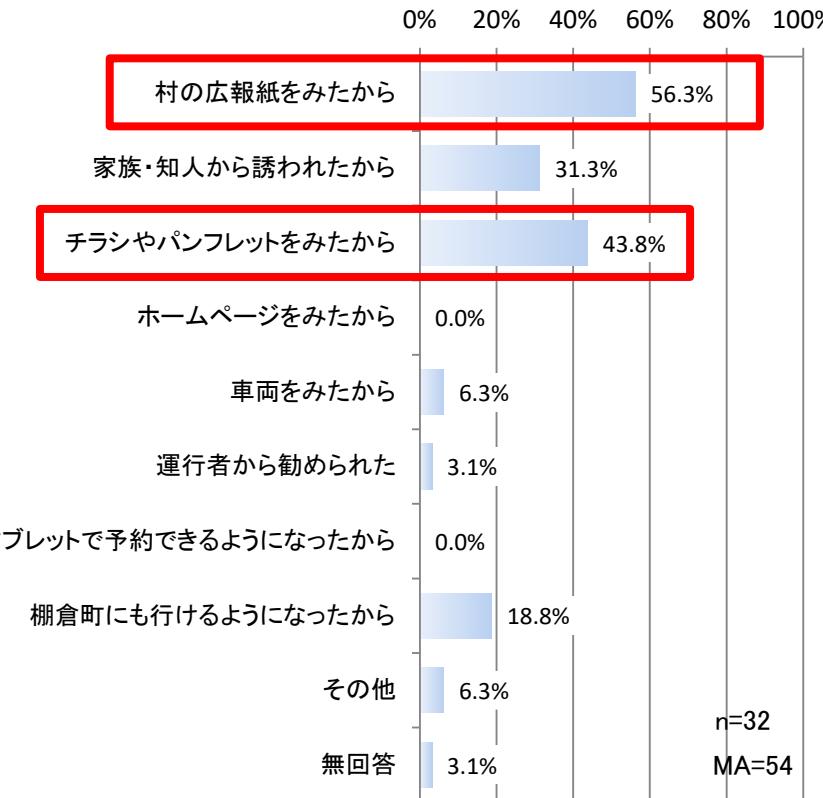
- 利用者は、現在の運賃を安いと認識しており、村内運賃については、400～800円が適正であると認識している割合が高い状況です。村外運賃については、800～1,000円が適正であると認識している割合が高い状況です。

<送迎頻度の変化>

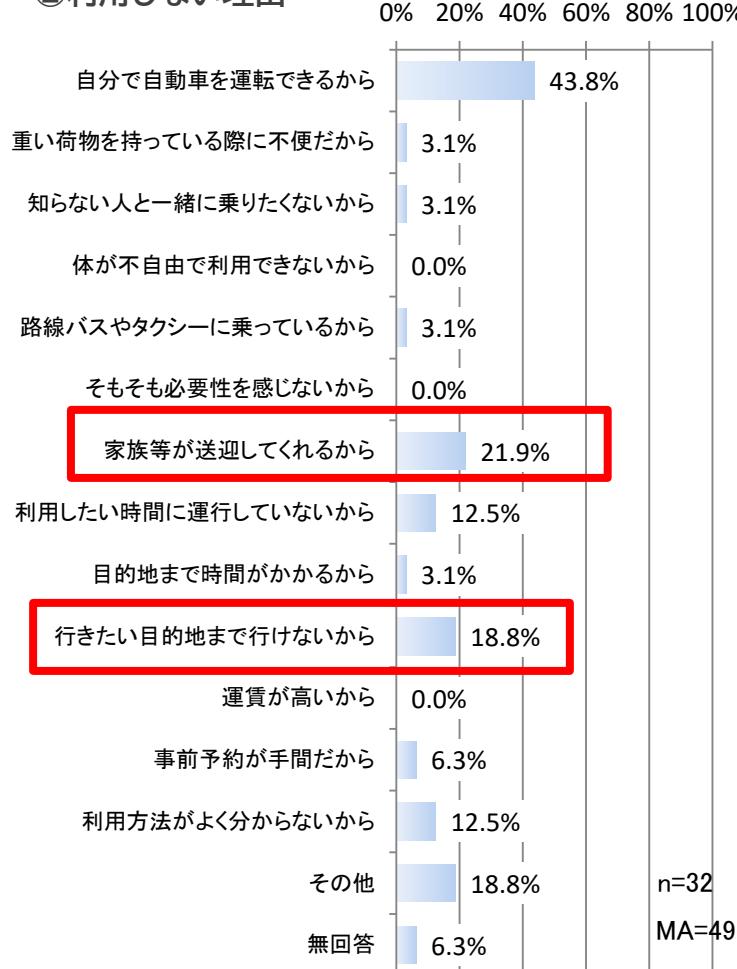
- デマンド交通利用以前と以後の送迎頻度を比較すると、週1～2日、月に2～3日の割合が減少して、月に1日程度の割合が増加しています。
- 送迎負担が更に緩和される方法として、村外への外出送迎を希望する割合が高い状況です。

2. 鮫川村デマンド交通の利用登録者+非利用者

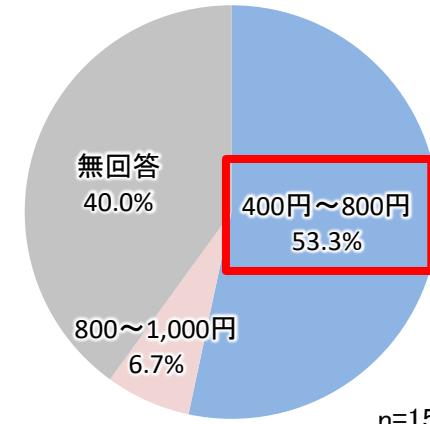
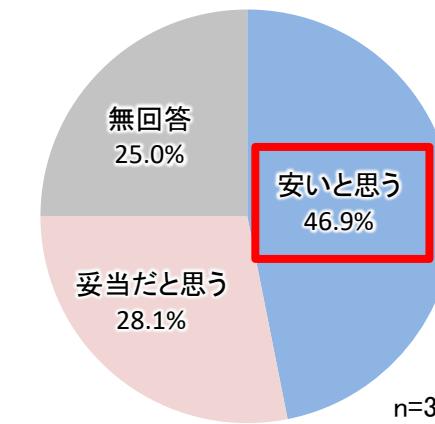
①利用登録のきっかけ



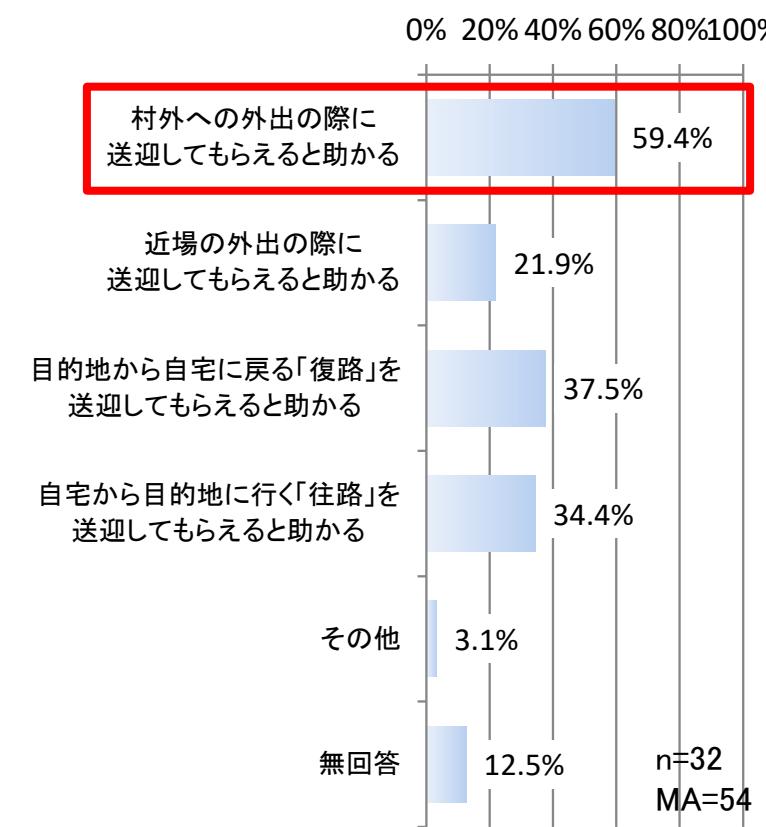
②利用しない理由



③村内運行の料金



⑤デマンド交通利用による送迎負担が緩和される方法



<利用登録のきっかけ>

- ・広報紙、チラシ・パンフレットなど紙媒体の割合が高い状況です。

<デマンド交通を利用しない理由>

- ・自分で自動車を運転できるからという理由以外を見ると、家族等が送迎してくれるから、行きたい目的地まで行けないからという回答が多い状況です。

<村内運行及び村外運行の料金>

- ・利用者は、現在の運賃を安いと認識しており、村内運賃については、400～800円が適正であると認識している割合が高い状況です。村外運賃については、400～800円が適正であると認識している割合が高い状況です。利用者と比較すると、村外運賃が低くなっています。

<送迎負担が更に緩和される方法>

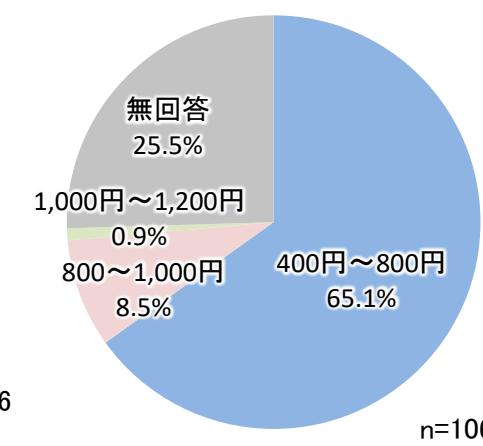
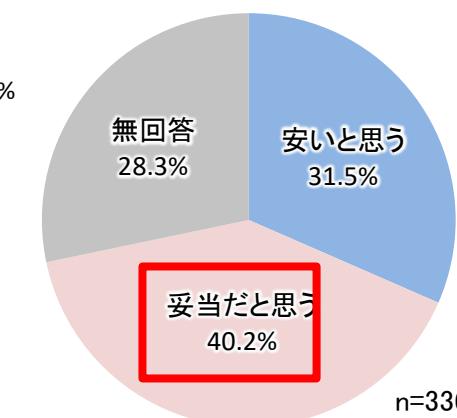
- ・村外への外出送迎を希望する割合が高い状況です。

3. 鮫川村デマンド交通の非登録者

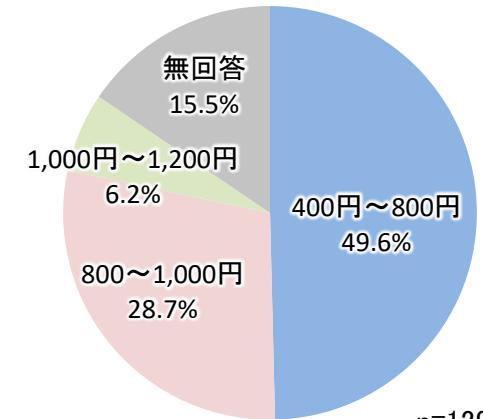
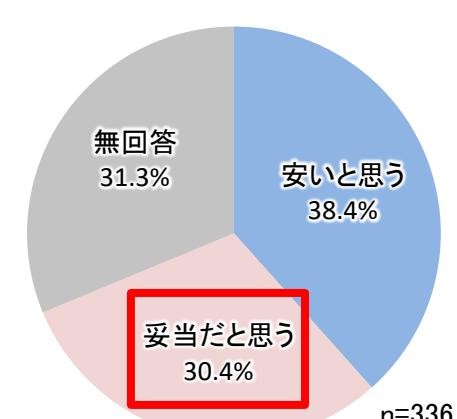
①利用登録しない理由



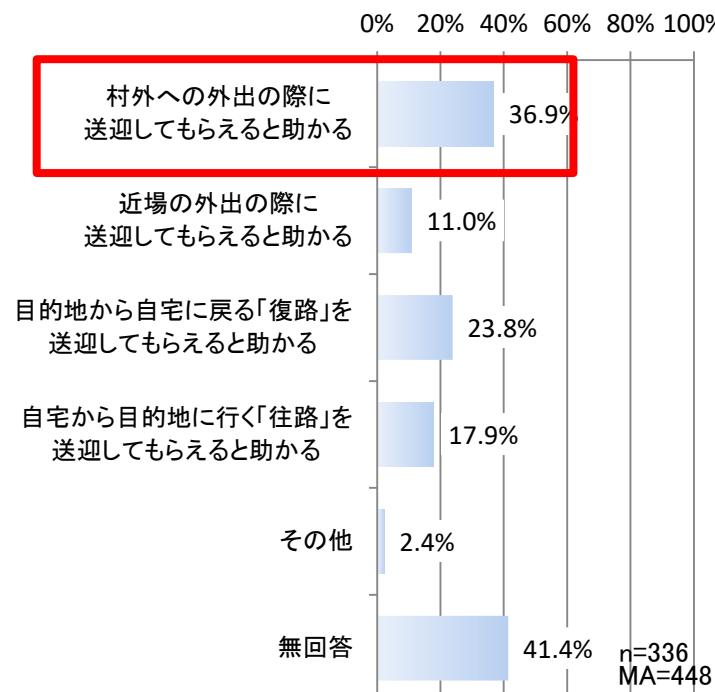
②村内運行の料金



③村外運行の料金



④デマンド交通利用による送迎負担が緩和される方法



<利用登録しない理由>

- 自分で自動車を運転できるからという理由以外を見ると、行きたい目的地まで行けないから、事前予約が手間だからという回答が多い状況です。

<村内運行及び村外運行の料金>

- 利用者は、現在の運賃を妥当と認識しており、利用者や利用登録者+非利用者と比較すると、その割合が高くなっています。

<送迎負担が更に緩和される方法>

- 村外への外出送迎を希望する割合が高い状況です。

議案第2号

宝木経由鮫川線について

令和8年度以降のダイヤ（案）について

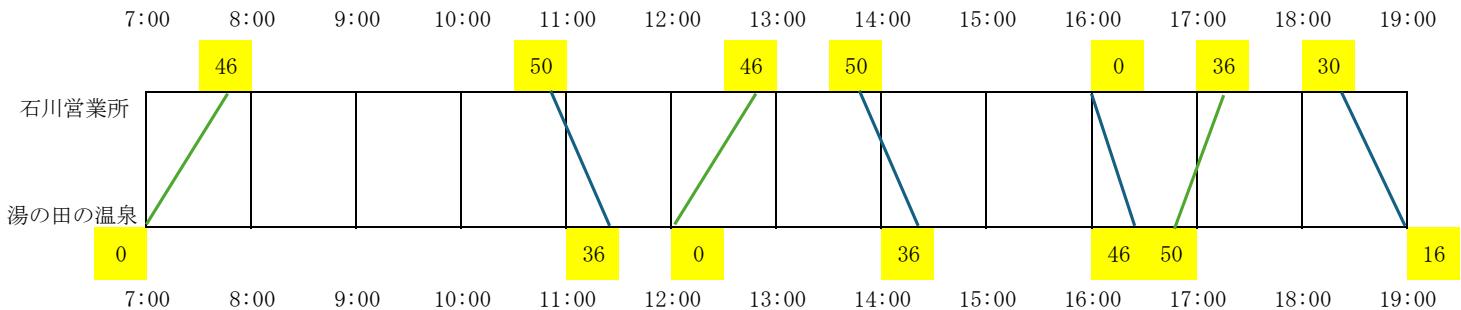
村内利用者が少ないことから、以下のダイヤを廃止することを提案いたします。

平日：往路18時30分発の便 廃止

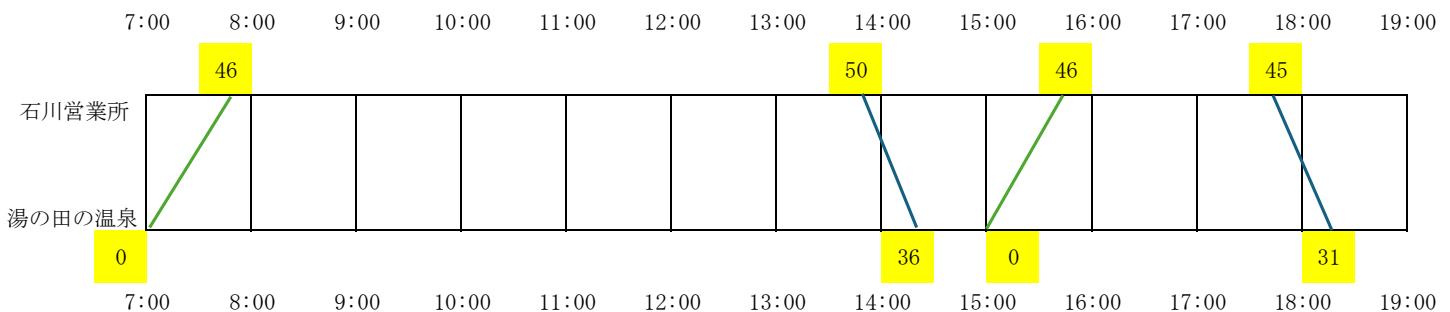
休日（土・日・祝）：全ダイヤ 廃止

■現行ダイヤ

【平日】

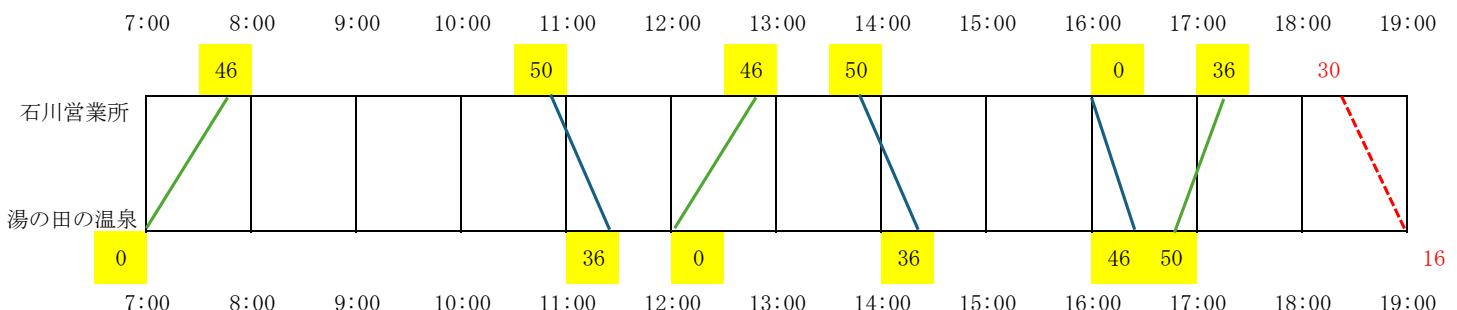


【休日（土日祝）】

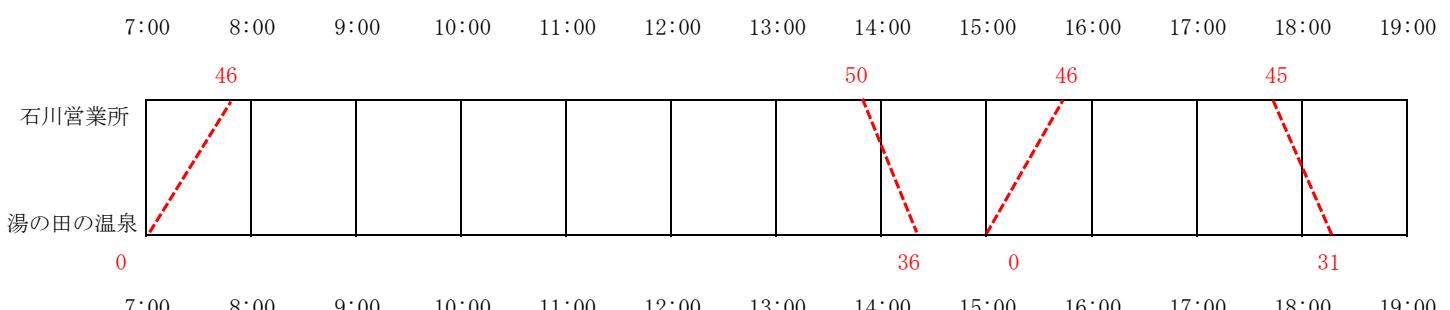


■変更ダイヤ

【平日】



【休日（土日祝）】



(参考)

平日ダイヤ

往路 (18 : 30)

	乗車人数	降車人数
石川営業所	8	
本宮		
石川新町		
石川南町		
石川荒町	1	
馬場町	38	
古町		
当町		
石川駅前		
松岡橋		
立ヶ岡	1	
大室		
福田		
中ノ内入口		
南山形	38	
高原入口		
羽入田	3	
八升蔵		
五斗蔵	5	
女庭		
塩の沢		
井戸入		
菅田		
後田中		
西山	1	
特養さめがわ		
押野		
宝木		
岩野草入口		
鍛治平		
薄ヶ久保		
官沢		
官沢入口		
伏木田		
道少田		
鮫川村図書館前		
新宿		
鮫川役場		
鮫川村保健センター		
鮫川広畑		
さぎり荘	1	
湯の田温泉	8	
乗車不定	10	
合計	57	57
うち村内利用者	0	10

休日ダイヤ

往路 (13 : 50)

	乗車人数	降車人数
石川営業所	10	
本宮		
石川新町		
石川南町		
石川荒町		
馬場町		
古町		
当町	2	2
石川駅前	18	
松岡橋		
立ヶ岡	8	
大室		
福田		
中ノ内入口		
南山形	1	
高原入口		
羽入田		
八升蔵	2	
五斗蔵	1	6
女庭		
塩の沢	1	
井戸入	6	
菅田		
後田中		
西山		
特養さめがわ		
押野		
宝木		
岩野草入口		
鍛治平		
薄ヶ久保		
官沢		
官沢入口	1	
伏木田		
道少田		
鮫川村図書館前	1	
新宿		
鮫川役場		
鮫川村保健センター		
鮫川広畑	1	
さぎり荘	4	
湯の田温泉	1	
乗車不定	3	
合計	34	34
うち村内利用者	0	8

往路 (17 : 45)

	乗車人数	降車人数
石川営業所	6	
本宮		
石川新町		
石川南町		
石川荒町		
馬場町		1
古町	1	
当町		
石川駅前	11	2
松岡橋		
立ヶ岡	1	
大室		
福田		
中ノ内入口		
南山形		
高原入口		1
羽入田		
八升蔵	1	
五斗蔵	1	1
女庭		
塩の沢		
井戸入		
菅田		
後田中		
西山		
特養さめがわ		
押野		
宝木		
岩野草入口		
鍛治平		
薄ヶ久保		
官沢		
官沢入口	1	
伏木田		1
道少田		
鮫川村図書館前	1	
新宿		
鮫川役場		
鮫川村保健センター		
鮫川広畑	8	
さぎり荘	1	
湯の田温泉	2	
乗車不定	2	
合計	21	21
うち村内利用者	0	14

復路 (7 : 00)

	乗車人数	降車人数
湯の田温泉	2	
さぎり荘	2	
鮫川広畑		
鮫川村保健センター	2	
鮫川役場		
新宿	1	
鮫川村図書館前	3	
道少田	1	
伏木田		
官沢入口		
官沢		
薄ヶ久保		
鍛治平		1
岩野草入口		
宝木		
押野		
特養さめがわ	1	
西山	3	
後田中		
菅田		
井戸入	9	
塩の沢	1	
女庭		
五斗蔵	2	
八升蔵	1	
羽入田	1	
高原入口		
南山形		
中ノ内入口		
福田		
大室		
立ヶ岡		
松岡橋		
石川駅前	20	
当町		
古町		
馬場町		4
石川荒町	1	1
石川南町		
石川新町		
本宮		1
石川営業所		4
乗車不定	1	
合計	31	31
うち村内利用者	15	1

復路 (15 : 00)

	乗車人数	降車人数
湯の田温泉	1	
さぎり荘	2	1
鮫川広畑		
鮫川村保健センター		
鮫川役場	1	
新宿		
鮫川村図書館前	1	
道少田		
伏木田		
官沢入口	1	
官沢		
薄ヶ久保		
鍛治平		
岩野草入口		
宝木		
押野		
特養さめがわ		
西山		
後田中		
菅田		
井戸入		
塩の沢		
女庭		
五斗蔵	1	1
八升蔵		
羽入田		
高原入口		
南山形		
中ノ内入口		
福田		
大室		
立ヶ岡		
松岡橋		
石川駅前	1	3
当町		
古町		
馬場町		
石川荒町		
石川南町		
石川新町		
本宮		
石川営業所		3
乗車不定		
合計	8	8
うち村内利用者	6	1